

年 組 () 名前

サイン

神戸ビーフ・名古屋コーチン…

コロナ下 給食に名産品

北海道苫小牧市のブランド牛「北雪牛」を使った牛丼を元氣よく頬張る児童たち（18日、東京都八王子市立式分方小学校で）



ブランド和牛や高級魚介類……。新型コロナウイルスの影で需要が低迷する地元になんだ食材を学校給食で提供し、生産者を支援する取り組みが各地で行われている。給食の提供にあわせて、生産者を招いた出前授業なども企画され、「食育」の好機とする学校や自治体も出ている。
（鯨井政紀、新美舞）

生産者支援へ国が補助金



◆新型コロナウイルスのせいで、あまり売れなくなった高級な肉や魚を給食に出し、生産者を応援する取り組みが行われています。

■牛丼に歓声
今月18日、東京都八王子市立式分方小学校。この日の朝礼で、給食に姉妹都市でもある北海道苫小牧市のブランド和牛「北雪牛」を使った牛丼が提供されることが知らされると、児童からは歓声があがった。

（2021年1月23日 読売新聞夕刊より）

【1】 あなたの好きな給食はなんですか。

Large empty brackets for writing answers to question 1.

【2】 あなたの地元の有名な食べ物は何ですか。

Large empty brackets for writing answers to question 2.

※ 先生やおうちのひと
いっしょに読みましょう。



年 組 () 名前

サイン

《記事①》



ペットボトルのキャップをスーパーの回収ボックスに入れるか回収業者に直接持ち込む。換金され、NPO法人「世界の子どもにワクチンを 日本委員会」が発展途上国の子どもにワクチンを届ける

(記事①②とも2021年2月25日
読売KODOMO新聞より)

《記事②》

書き間違えて出していない年賀状、未使用のはがきや切手を寄付。換金されて、 Bangladesh や Nepal で働く少女たちの教育などを支援 (3月31日まで)

◆ 寄付というとお金持ちが
することというイメージが
ありますが、子どもでも、手
軽にできるやり方があります。
2つの記事を読んで、トライし
てみませんか。

【1】あなたはペットボトルのキャップを、飲み物を飲んだ後などに、どうしていますか。記事①を読んで、どうしたいと思いましたか。

.....
.....
.....

【2】あなたの家には書き間違いをした、はがきや、使っていない切手は何枚ぐらいありますか。分からない人は家に帰って調べましょう。

.....

枚

【3】なぜ、Bangladesh や Nepal の少女たちを助けようとしているのか、その理由を調べて、書きましょう。

.....
.....
.....



年 組 () 名前

サイン

廃棄食材 生徒が商品に



◆ 千葉県の高校生たちが、「食品ロス」をなくそうと、^{はいき}廃棄食材を使った商品づくりに取り組んでいます。

商品を販売する四街道高校料理研究部の生徒ら(四街道市文化センター前広場で)

(2021年1月9日 読売新聞千葉版より)

県立四街道高校料理研究部の生徒が、四街道市内の飲食店で廃棄される食材を再利用した商品の開発に取り組んでいる。生徒らは毎年独自の新品を考案し、「もっと多くの人に食品ロス削減への意識を持ってほしい」と話している。同部は2018年から市内の飲食店や農家から譲り受けた廃棄食材を活用し、商品開発を行ってきた。これまで、ベーカリーで余った食パンの耳を使ったラスクや、うどん店で不要になった麺の切れ端を使ったチーズ入りもち「ロスもちいず」などを作り、地域のイベントで販売してきた。昨年12月には、市文化センター前広場で開かれた、社会福祉法人など計約15団体が参加する「ちばユニバーサル農業フェスタ」に出店。生地にうどんの切れ端を使ったピザと、農家から譲り受けた規格外のサトイモとうどんをこねたポタージュの二つの新品を販売した。「素材の味が生かされていておいしい」「もちもちとした食感が面白い」などと好評で、準備した計約100食を1時間以内に売り切った。

【1】 高校生たちが作った新商品の材料は何ですか。それぞれ書きましょう。

ピザ	
ポタージュ	

【2】 高校生たちがこれまでに作った商品と材料を2つ書きましょう。

【発展問題】 あなたの住んでいる^{ちいき}地域では、どのような食材が有名ですか。あなただったら、捨^すてられる食材などを使ったどんな取り組みを考えますか。裏^{うら}に書きましょう。



サンマ不漁「海洋熱波」で？

サイン

年 組 () 名前

◆サンマの漁獲量が減った理由が、研究によって明らかになってきました。一方で、漁獲量が増えている魚もいるようです。

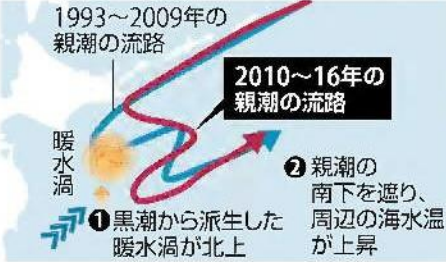
海洋熱波 陸域の熱波と同様に、海域で水温が極端に高い日が続く現象。過去の統計で10%以下しか起こらない高水温が5日以上継続すること、と定義される。過去100年間で発生頻度が大幅に増加し、海洋生態系への影響が懸念されている。

近年のサンマの不漁は、好漁場に現れた熱波のせいかもしれない。こんな解析結果を、北海道大と海洋研究開発機構のチームが発表した。サンマは冷たい水を好むが、北海道南方沖

サンマ不漁「海洋熱波」で？

水温上昇 常態化も プリは豊漁

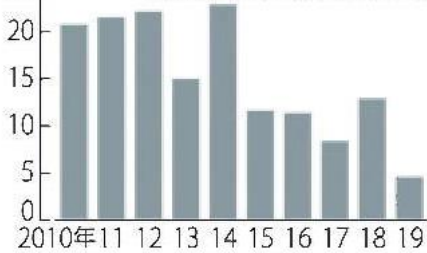
海洋熱波が起きた仕組み(イメージ)



2010~16年の親潮の流路... 黒潮から派生した暖水渦が北上... 親潮の南下を遮り、周辺の海水温が上昇

2010~16年の夏、海水温が異常上昇する「海洋熱波」と呼ばれる現象が起きたという。19年以降、再び水温の上昇傾向がみられることから、常態化の恐れもあるとしている。

サンマの年別漁獲量 (農林水産省の統計に基づく)



(2021年2月14日 読売新聞朝刊より)

とみられるという。チームの見延庄士郎・北海道大教授(気候学)は「海洋熱波が毎年発生するのは異例。地球温暖化の影響で、海洋や大気の流れに変化が起きている可能性がある」と指摘する。

【1】サンマはなぜ不漁になったと考えられますか。下の空欄に合わせて書きましょう。

サンマは [] を好むのに [] が発生し水温が上がったから。

【2】サンマとは対照的に、暖流魚のある魚は豊漁となっているようです。その魚は何ですか。

[]

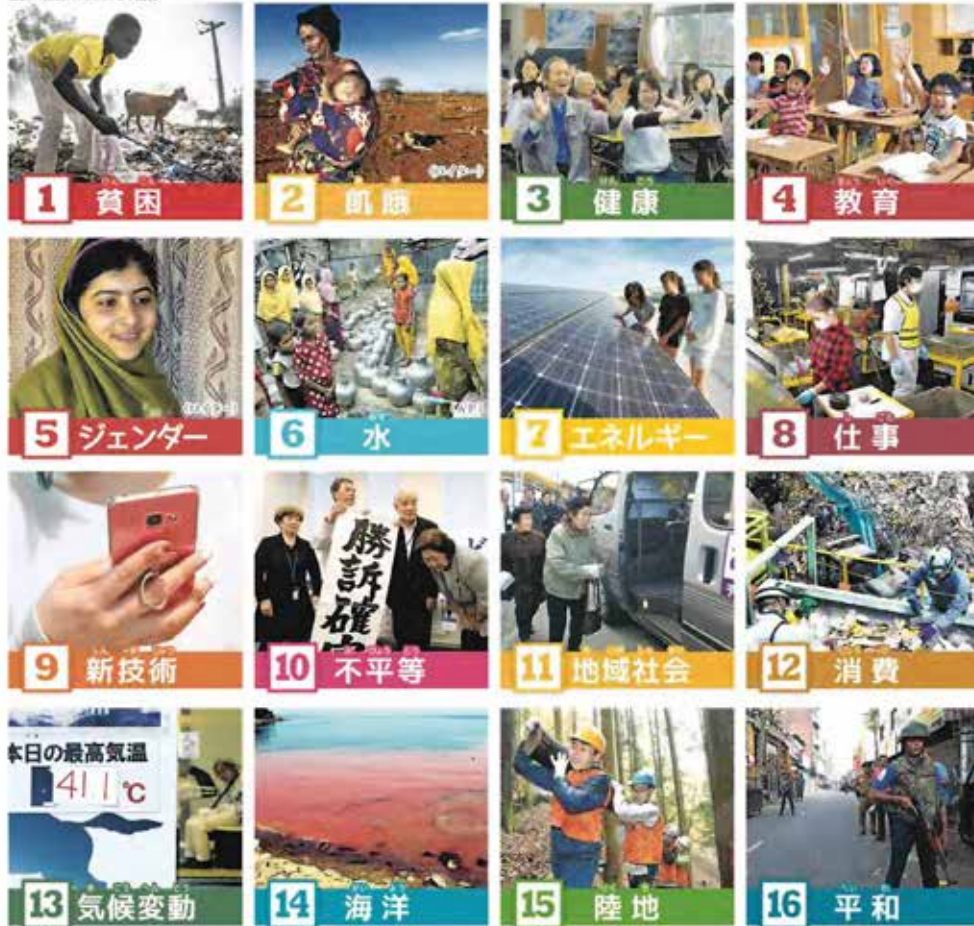
【3】「近年、北日本の漁業に起きている様々な変化」とはどのような変化ですか。具体的に書きましょう。

[]



世界 17 の宿題を学ぼう

© UNICEF/UNDP/WHO/World Bank Photo Library



「このすばらしい旅の始まりに僕たちは誓うよ。誰ひとり取り残しはしないと」

2015年、こんな宣言とともに、人類の「旅」は始まりました。2030年までに達成すべき世界の17の「宿題」を設定した「SDGs (持続可能な開発目標)」が

国連で決められたのです。たとえばおいしいチョコを食べると幸せな気分になれます。でもそのチョコは、遠くの国の力才畑で子どもが無理やり働かされてできたものかもしれません。

じゃあチョコを食べなければいいのでしょうか。がまん

エスディージーズ
SDGs 期限は2030年

するだけでは、だれも幸せにはなりません。どうすれば誰も取り残さず幸せになるかを考える、それが私たちの「旅」なのです。

読売KODOMO新聞 (2019年7月25日) を一部加工



読売中高生新聞に、SDGsにまつわるコーナーが登場しました。その名も「読売中高生SDGs新聞」。毎月3週目に掲載し、全国の中学、高校の活動を紹介していきます。

SDGsは、かけがえのない地球を維持していくため、2030年までに達成すべきだと国連が定めた目標のこと。「貧困をなくそう」「海の豊かさを守ろう」など17の目標が挙げられています。

どれも地球規模の課題ですが、「自

分たちにもできることはある」と考え、地道に取り組む中高生が増えていきます。そんな中高生を応援しようと4月にスタートしたのが「SDGs新聞」です。

取り上げてほしい学校は、中高生新聞編集室 (chukousei@yomiuri.com) に連絡してください。



読売新聞社は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

読解力向上プロジェクト

Utilizing Newspapers In Schools for Overall Reading-literacy

読解力
アップ

読売新聞教育ネットワークは令和3年度、小学校高学年から中学校を対象とした「読解力向上プロジェクト」を実施します。オリジナル教材 **★よむYOMUワークシート** を使って子どもたちの読解力向上を測定する内容で、効果検証に協力していただける令和3年度上期・下期参加校・自治体を募集します。使用する教材は学校で新聞を活用していただくための学校教職員向け記事教材配信サービス「ワークシート通信」をベースに開発。新しい学習指導要領に準拠した教科書の目指す学力を強化するための副教材です。

新聞記事を独自にアレンジしたオリジナル教材で 言語能力・情報活用力・論理的思考を伸ばします



新学習指導要領に準拠

- 表やグラフの読み取りを多く取り入れ、実践的な国語力を高めることができます
- 令和2年度以降実施の新学習指導要領に準拠しています
- 文部科学省「実用的な文章から必要な情報を読み取る」という新しい学力を育みます
- 大学教授ら有識者の監修を経て、身近なニュースに触れながら読解力が身につくように工夫しています
- 15枚（標準モデル）のドリルと効果検証用テスト等で、読解力の伸びを分析します
- 全国学力・学習状況調査の対策にも通じる設問を数多く取り入れています。

※効果検証は読売新聞教育ネットワークが個人を特定できない形で行います。個人を特定する情報は収集しません。

令和3年度上期・下期の参加校、自治体を募集中

事前登録された学校・自治体（教育委員会）に参加募集の案内をお送りします。詳しくは教育ネットワークの専用サイト (<https://kyoiku.yomiuri.co.jp/contents/unicom.php>) か右側にある専用のQRコード経由で手続きをしてください。



登録は
こちら